

○事務行政（18-21）、高校卒程度技術、消防吏員B I、学校事務、
身体障がい者を対象とした職員（事務職員）採用試験教養試験問題例

[No. 1] 人身の自由に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

1. 犯罪による処罰による場合は、奴隷的拘束を受けることがある。
2. 法律の定める手続によらなければ、その生命若しくは自由を奪われない。
3. 現行犯を除いては、逮捕される時には、検察官が発する令状が必要になる。
4. 刑事被告人は、自ら弁護人を依頼することができるから、国が弁護士を付けることはできない。
5. 拷問や脅迫がない限り、自己に不利益な供述を強要することができる。

[No. 2] A～E の 5 人のうち、4 人がリンゴを食べ、1人がバナナを食べた。それぞれに誰がバナナを食べたかを尋ねたところ、次のように答えた。5 人のうち本当のことを答えたのが 4 人であるとき、確実にいえることとして、最も適切なものはどれか。

- A 「バナナを食べたのは C か E である。」
B 「バナナを食べたのは A か C である。」
C 「B と D はリンゴを食べた。」
D 「A の言っていることはウソである。」
E 「バナナを食べたのは B か C か D である。」

1. バナナを食べたのは A である。
2. バナナを食べたのは B である。
3. バナナを食べたのは C である。
4. バナナを食べたのは D である。
5. バナナを食べたのは E である。

[No. 3] 次の対義語の組合せとして誤っているものはどれか。

1. 厳格 ⇔ 寛容
2. 空前 ⇔ 絶後
3. 質素 ⇔ 儉約
4. 拒絶 ⇔ 受諾
5. 架空 ⇔ 実在